

令和8年9月第3回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 湯本 直木】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1. 令和8年度6月議会での諸般の報告について	令和8年度6月第2回議会定例会の諸般の報告の回答の中に期限を切った回答が数件あったので、確認の意味も含めて3項目について伺う。 ① 先進地への視察研修等について・・・の意見の対応として「前文略・・・成果報告会の実施など、得られた知見を共有する仕組みを強化しつつ、本村の地域特性や現状の課題を勘案しながら、施策への反映を積極的に検討・・・」との回答だが、実際に実施した仕組みの強化策は何か。本村の地域特性をどう捉えているのか。施策への反映を積極的に検討した実績はあるのか。 ② 木島平ブランド再構築事業について「職員が外部専門家の知見を吸収し、自ら主体的に考え行動できる体制の構築とともに、実効性のある取組につながるよう努める」との回答だが、実際、この回答の通りに行動できているのか。 ③ 「創業支援補助金」「事業承継補助金」について、「補助対象経費の範囲や上限額について、近年の物価変動や創業・事業承継を取り巻く実状を踏まえ必要に応じて見直しを検討する」との回答があった。この事業は移住定住促進にもつながる重要な事業と考えられるが、検討はされたのか。現状はどうなっているのか。 ④ 堆肥センターの検討委員会の設置について「今年度上半期中の組織を予定している」と回答があったが、6月議会で村長は「9月の設置を目標に進めている」と答弁があった。検討委員会の資料として重要になる堆肥利用者アンケートは実施したのか。その結果についての分析は。また、検討委員会の設置の目的は。	村 長
2. 人工芝化された屋内運動場について	長年懸案であった屋内運動場が人工芝化されたが、園児・児童の保護者から「ファームス木島平には雨天対応ができる施設がない」という話を何度となく耳にしている。人工芝化された屋内運動場はその代替施設として有効活用が期待されるところだが、まだ認知度が低いと感じられる。 ① 人工芝化工事竣工後の雨天時の利用状況（内容・人数）はどうなっているのか。 ② 雨天対応の認知度アップのための継続的な告知も含め、何か方策は考えられているのか。 ③ まだ解決されていないと思われる屋根の雨漏りについて、現在の使用にあたっての影響と今後の対応策はどうなっているのか。	村 長

令和8年9月第3回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 湯本 直木】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
3. 上下水道の管理の実状と今後の整備計画について	当村の下水道施設工事は平成3年1月に大町地区とスキー場地区から始まり、平成6年10月から46戸の加入で供用が開始され、その後供用が開始された農業集落排水事業の糠千地区と馬曲地区の2事業も稼働している。 ① この農業集落排水事業については、対応している集落の下水道供用戸数が自然的な人口減や、施設の経年劣化より年々コストパフォーマンスが悪くなってきていると思われるが、この2施設の維持管理についてはどのような状態になるまで運用するのか、その指標をどう見据えているのか。 ② 農業集落排水事業以外では現在全村では1,588戸で供用されている。今年で約32年が経過している終末処理施設や配管の劣化等、今後大規模な改修工事が必要になることが予測される。併せて、それよりもっと古い設備の上水道施設・設備も併せて今後の改修工事の計画については第7次総合振興計画に盛り込まれている内容だけで万全なのか。	村 長
4. 保育園、小中学校の教職員のハラスメント対応について	最近、県教委が教諭2名を懲戒免職処分したとの報道があった。本年度になり県教委が教諭を懲戒処分したのは3名になったとのことだが、当村の保育園、小中学校の教職員に対してのハラスメント対応はどうなっているのか。教職員へのハラスメントについての教育や研修会などを実施したのか。管理する側と管理される側の対応（マニュアル）は。	教育長